

令和6年度 第3回学校運営協議会 議事録

開催日：令和7年3月10日（月）

時間：15：00～16：20

会場：深沢高等学校会議室

会議形態：対面会議

司会：日比野総括教諭

記録：岡沢総括教諭

【出席委員】（出席者数5名／委員数8名）

池田吉伸 委員（副議長）

畑谷智子 委員（議長）

小林瑞幸 委員

里見正憲 委員

嶋村勝美 委員

与安透 委員（校長）

＜説明のための出席教職員＞

村田克也 副校長

佐藤竜太 教頭

大谷英弘 総括教諭

岡沢哲晃 総括教諭（記録）

小松原肇 総括教諭

佐藤準也 総括教諭

佐藤英幸 総括教諭

日比野規生 総括教諭（司会）

＜公聴者はありませんでした＞

【校長あいさつ】

ご多忙の中、第3回の学校運営協議会にお集まりいただきありがとうございます。第1回では有意義な意見をありがとうございました。第2回は文化祭を参観いただきました。

9月末の修学旅行では、現地業者による民泊先の確保に問題がありトラブルとなり迷惑をかけましたが、保護者会での謝罪、返金、ディズニーランド遠足企画等でこのほどようやく結着しました。

藤沢清流高校との再編・統合では「希望の塔」の移築を考えましたが、一千万円の支出が予想されたため、調査・見積もりの前に断念しました。

卒業式も終わり、残りあと2年です。次年度は2/3の職員数でやりくりし、やれることをやれる範囲で進めていきます。本日は忌憚のないご意見をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

【各委員あいさつ】

里見委員

大学でも入試が一段落し、入試問題を検証している。今後のオープンキャンパスに深高生の参加をよろしくお願いいたします。

畑谷委員

先日、卒業式を迎えた。来年度からPTAでも人数減になる中で、やれることをやっていく。

池田吉伸委員

手広中学でも3月12日（水）に卒業式だが、卒業生の半数以上が私立高校に進学する。地元の深沢高校がないことが本当に残念である。文化祭を参観して、本当に素晴らしいと思った。今後の縮減で大変だが頑張ってもらいたい。

嶋村委員

幼稚園も卒園式を迎える。秋のお弁当交流会や深高祭に呼ばれた年長さんが卒業する。完校は地域として悲しい。

堀井委員

来年度は学校規模の縮小に向けて苦労はあるだろうが、よろしく願いたい。

【事務局からの説明】令和5年度の実施結果に対しての学校関係者評価（資料に沿って）

- 1 教育課程 学習指導について 小松原総括教諭から説明
 - ・生徒による授業評価を例年通りに実施した。新たな試みとして、「高評価科目から学ぶ」をまとめ、職員会議に報告して、工夫を共有することができた。
- 2 進路指導・支援について 佐藤準也総括教諭から説明
 - ・1年生全員参加のインターンシップは今年度で一区切りした。来年度からは希望者対象で行う。進路実績は速報値を資料としたが、年内入試で決める生徒の割合が下がった。現在、一般入試にチャレンジして者もいるが、受験先すべてに受かる者とすべて落ちる者の二極化が見られる。
- 3 生徒指導・支援について 日比野総括教諭、大谷総括教諭から説明
 - ・深高祭（文化祭）は晴れた。生徒会活動では、3学年が揃う最後の年の行事を充実して行うことができた。球技大会も生徒による運営で円滑に実施することができた。
- 4 地域等との協働について 日比野総括教諭、村田副校長から説明
 - ・地域との協働では、片岡幼稚園との交流を楽しんだ。新川清掃も多くの生徒参加で実施した。広報活動では学校HPの更新が間遠になってしまったが、地域版タウンページに複数回、全国ネットのテレビ放送を1月に収録し2月に放送などPRすることができた。生徒が楽しんだ経験を、来年度以降に生かしたい。
 - ・学校施設開放では資料のとおり、年間通してテニスコートの利用があった。テニス部の活動がない時、試合のない時に施設開放するので、今後の部活動縮小で開放の機会が増えると考えられる。
 - ・地域との交流では、9月の深高祭に地域の方にも参加いただいた。また、同窓会から援助いただき、後夜祭で打ち上げ花火を上げることができ、地域の方にも楽しんでいただいた。12月の球技大会では、PTA保護者の方から豚汁をふるまっていただき、生徒・職員はとても喜んだ。
- 5 学校管理 学校運営について 佐藤英幸総括教諭、佐藤竜太教頭から説明
 - ・不祥事防止に取組み、若い職員に注意喚起して無事故だった。今後の再編統合に向けて、個人情報情報の移管や廃棄に注意する。
 - ・コロナ禍後、ゴミの持ち帰りに取り組んでいる。教室にゴミ箱がないので、生徒会が設置を求めている。今後探っていく。
 - ・防災教育・訓練を更新し充実するようにしている。非常用トイレ1000回分を購入・備蓄した。女性用生理用品も。防災非常食の喫食訓練には30人の生徒が参加した。
 - ・完校に向けての物品整理をおこなった。この業務は来年度以降も続く。
- 6 再編・統合について 岡沢総括教諭から説明
 - ・創立40周年記念式典を11月7日に鎌倉芸術館で予定する。記念誌も編集が進んでいる。物品リストは1千品目になった。応募受付の初日からは多数の希望があった。

【協議】学校運営に関して委員からの意見聴取（畑谷議長、池田副議長による議事進行）

里見委員

- ・授業改善の取組が非常に丁寧である。生徒による授業評価をやりっぱなしではなく、振り返りで深められる良い取組だ。生徒も学習に対する主体性が見えて良い。進路指導の取組では、新しい講座を開いていて良い。

- ・学校規模を縮小する、2校を合併するのはストレスが大きいですが、小規模になれば生徒がよく見えるので、そこを大切に指導してほしい。最後の生徒たちが誇りをもって卒業できるように頑張してほしい。

畑谷委員

- ・体育祭、文化祭、球技大会を近くで見られた。のびのびしている姿がありがたかった。
- ・文化祭の体育館発表の暑さは見直してほしい。あの暑さでは、事故が心配だ。

(回答：日比野総括教諭)

- ・来年度は6月上旬に体育祭、9月第1週に文化祭を予定している。体育館の暑さには危機感がある。しかし、生徒からの演出上の要望で、照明のために開放できずにいるため暑くなる。

池田吉伸委員

- ・生徒による授業評価では、「情報」の評価の低さが疑問。PC教室で1人1台環境ではないのか。
- ・完校に向けての学校縮減では、できることを頑張してほしい。物品整理は本来はない業務なのに、順調に進んでいる。良い手本であってほしい。

(回答：小松原総括教諭)

- ・若手を中心とした教員自身が「主体的に学ぶ」授業を考えている。生徒にとっての授業を考え、寄り添っている。その姿勢を生徒も見ている。
- ・「情報」についてはPC教室で1人1台のパソコンで、ゲーム感覚で楽しそうだが、授業では正確な用語をきちんと教えることに苦労している。そのように授業担当者は話している。

嶋村委員

- ・生徒による授業評価で、初めて教員による気を付けている点の共有があったと。資料を見て、教科によってポイントが違ふと思った。教師との信頼関係が深く、やっぱり先生が好きだと授業も好きになる。まだそういう年代だろう。
- ・この地域も高齢化が進んで、高校生は心強いが深沢高校がなくなってしまう。この跡地はどうなるのか。

(回答：与安校長)

- ・学校跡地についてはまだわからない。

堀井委員

- ・いじめ防止対策の話として、不登校気味の生徒の割合はどのくらいか。早め早めに話をしているというが、どんな話を誰がしているのか。養護教諭からか。不登校枠で入学するという話があるのか。
- ・防災教育の中で、体験者から話を聞いて被害や対策を想像する取組はあるのか。
- ・学年が減っていくのは、1期生だった私の体験とは逆のパターン。この校舎に空き教室が増えていくのは、けっこう寂しいのではないかと。フォローをよろしくお願いいたします。

(回答：大谷総括教諭)

- ・不登校気味の定義は難しいが、今の2年生が1年生から進級できなかった生徒はいる。転学や退学があった。2年生になってからも数名が転校している。担任からの連絡で来られるようになったり、3年生になれば進路希望を支えに頑張れたりする。今の1年生は、中学までに不登

校だった生徒が一定数いて、4月5月は大変だったが、今は来られるようになっている。SCやSSWとも連携し、かながわスクールサポートドックの取組を通して、教員から見て気になる生徒を早めに拾い上げている。それをきっかけに生徒に声かけしており、効果的である。

- ・放課後も多忙化して、生徒の声を拾いにくい。
- ・不登校枠というものは深沢高校には無い。入学した生徒の課題に対して対応する職員数やマンパワーが減っていくので、課題である。

(回答：村田副校長)

- ・欠席が多くなり進級が危ぶまれる生徒への声かけをどうするのか、若手の教員向けの担任研修を毎年10月ころに管理職が開いている。手前みそになるが、本校の良い取組だと思う。

(回答：佐藤英幸総括教諭)

- ・防災教育では、修学旅行で現地の方から体験を聞く。これまでは東日本大震災の岩手で行い、来年は阪神淡路大震災の兵庫の予定である。また、朝の読書活動で防災ジャンルの読書に取り組んでいる。

与安委員（校長）

- ・今日いただいたご意見を学校運営に生かしていきたいと思います。委員の方々には、来年度継続していただきたいとか考えています。本日はありがとうございました。

以上